

令和6年 第4回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第4回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和6年4月24日(水) 13:40~15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

森屋教育局長

(企画総務課) 河野課長、比江島補佐、田中補佐、野崎主査、中村主事

(学校施設課) 齋藤課長、町田補佐

(学校教育課) 小川課長、矢野補佐、西川補佐

(教育情報研修センター) 栗原所長、黒田次長、加藤次長

(生涯学習課) 坂本課長

(保健給食課) 弓削課長

(文化財課) 町田課長、井田補佐、今城補佐

4 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第12号	臨時代理の報告について	学校教育課長
報告第13号	令和6年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第14号	教職員の事案の報告について	学校教育課長
報告第15号	事故等の報告について	学校教育課長

黒木教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第4回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はいません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私黒木と、高峰教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。2ページをご覧ください。「(1) 教育長報告」ですが、記載のとおりです。</p> <p>このうち、4月11日に行われた「全国都市教育長協議会 令和6年度第1回理事会」について、報告します。資料は3ページです。</p> <p>「全国都市教育長協議会 令和6年度第1回理事会」では、役員の選任についてや令和5年度一般会計、特別会計決算について、令和6年度一般会計、特別会計予算(案)、第74回定期総会・研究大会(長崎大会)についての議事が諮られました。また、文部科学省からは、不登校対応や教員不足についての講話が行われました。説明は以上です。</p> <p>続いて、「(2) 教育委員報告」です。</p> <p>4月19日に行われた「全国市町村教育委員会連合会 令和6年度第1回常任理事・理事会」について、松尾代表教育委員より報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>4月19日に東京都の学士会館で、「全国市町村教育委員会連合会 令和6年度第1回常任理事・理事会」が行われました。私は理事で参加しました。</p> <p>内容については、5月に定期総会が行われるため、総会に関する協議がありました。会議の報告や事業報告、功労者表彰の表彰者の選考、事業計画、予算案等を協議し、総会に提出する資料を固めたところです。また、情報提供ということで文部科学省より説明がありました。</p> <p>令和6年度の役員について、熊本県西原村が常任理事になることで予定されています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「(3) 教育局長報告」については、報告案件はありません。</p> <p>次に、「(4) 各課行事報告等」です。こちらに記載のとおりです。</p> <p>「②学校教育課」行事より、「令和6年度宮崎市立小・中学校教職員辞令交付式」「令和6年度宮崎市立小・中学校教職員新任式及び新任者研修会」「市内中学校 入学式」「市内小学校 入学式」「宮崎市立ひなた中学校開校式及び第1回入学式」について、報告をお願いします。</p>
小川学校教育課長	<p>学校教育課関係の主な行事を報告します。</p> <p>まず、4月1日の「令和6年度宮崎市立小・中学校教職員辞令交付式」です。本年度は小学校69名、中学校20名、養護教諭2名、栄養教諭1名、合計92名が本市の本年度採用となりました。</p> <p>続いて、4月4日の「令和6年度宮崎市立小・中学校教職員新任式及び新任者研修会」です。教育委員の皆様にも出席していただき、ありがとう</p>

	<p>ございました。本年度は校長22名、教頭18名を含め、286名の教職員が新たに宮崎市立小中学校に赴任されました。</p> <p>続いて、4月9日の「市内中学校 入学式」です。今年度は、3,313名が入学しました。昨年度は、3,275名でしたので、38名の増となります。現在のところ、中学校の在籍は、9,876名、令和5年度が9,806名ですので、70名の増となります。</p> <p>続いて、4月11日の「市内小学校 入学式」です。今年度、3,395名の児童が入学しました。昨年度は、3,561名でしたので、166名の減となります。現在のところ小学校の在籍は、21,527名、令和5年度が21,949名でしたので、422名の減となります。現段階での小・中学校に在籍する児童生徒は31,403名で、令和5年度は31,755名のため、352名の減となります。</p> <p>続いて、4月22日の「宮崎市立ひなた中学校開校式及び第1回入学式」です。今年度から開校し、10代から70代までの幅広い年代の17名が入学しました。目的をもって学びたいという方々が入学され、新しい学びの形が、今後展開されていくものと考えます。</p> <p>いずれの入学式も、来賓や保護者の制限はなく、また、コロナ禍以降の流れとして式次第を簡略化するなど、学校の実情に応じて実施されました。学校関係者、保護者の方々からも概ね好評であると聞いています。教育委員の皆様にも出席していただき、ありがとうございました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回入学式に参加した委員の皆様、感想がありましたらお願いします。</p>
高峰教育委員	<p>私は4月22日の「宮崎市立ひなた中学校開校式及び第1回入学式」に出席しました。非常に感動する場面が多くありました。入学生の年代と国籍が非常に多様化していました。</p> <p>渡会校長のスピーチが非常に印象に残っています。ご自身の言葉で、日本語と英語の両方で話をされていました。非常に綺麗な英語でした。</p> <p>私事ですが、私はネパールから来た女の子と4年間、ホームステイとして、お預かりしたことがあります。中学3年生の2月から学校に入りました。学校にもよく受け入れていただき、学校も力を尽くし、授業の中で、英語と日本語を交えながら教えてくれました。このような学校ができると、様々なバックグラウンドの子ども達が宮崎で学べる機会が広がると思います。</p>
小林教育委員	<p>私事ですが、渡会校長と同じ学校に勤務していたことがあります。当時から非常にメリハリのある指導をされる中、大変温もりのある指導される先生で、地域からも非常に信頼されていた先生でした。校長になり、また一段と深さが増したような印象を受けます。英語のスピーチは、熱くなるような思いがしました。様々な思いを込めて、話をされたスピーチであったと考えました。</p> <p>新入生代表の挨拶では、二人で助け合いながら読む場面があり、非常に</p>

	<p>胸を打たれました。様々な方の支えがあり、開校に結びついたことに対する思いが一層膨らみました。そのような開講式に参加ができ、非常にありがたかったです。</p> <p>また、木花中学校の入学式にも参加しました。緊張感のある中の入学式でした。今まで小学校でランドセルを背負っていた児童が中学校の入学となり、途中で気分が優れなくなる生徒が二人ほど続けて出ていました。そのような意味で、緊張感のある入学式だったと思います。</p> <p>一方で、迎える側の学校としても、花等が非常に整えられ、昨年よりも来賓の方が3倍ほど増えていたと思います。皆さんで、入学式を祝う姿が非常に良かったです。</p> <p>新入生だけ、上履きが防災対応シューズのようなものになっていました。防災教育に力入れている点で改善をされたのだろうと思いました。木花中学校の様々な思いを感じながら、入学式に参加しました。</p>
松尾代表教育委員	<p>宮崎市立ひなた中学校の入学式については、両名からの感想と同じような思いでした。非常に胸が熱くなる思いでした。</p> <p>小学校と中学校の入学式について、式としては、節目を迎えた初々しさがありました。また、会場には、学校用務員の方が育てた花が満開に飾られ、来賓の方々からも「綺麗に作られている。」との声が出ていました。</p> <p>一方で、式次第についての状況を報告します。中学校の式次第には、校長挨拶と教育委員会とPTA会長の祝辞があり、その後に来賓紹介でした。しかし、実際は校長挨拶の次に来賓紹介でした。小学校では、式次第の中に教育委員会とPTA会長の祝辞は、はじめから記載されていませんでした。逆に、共通していたことは、新入生の保護者代表挨拶です。こちらは式次第には入りませんが、必ずあります。私の席の隣に、議員がいましたが、同様に違和感を感じていました。コロナウイルス感染症が5類になってから式を縮減していくという考え方があると思います。一方で、コロナウイルス感染症が2類相当の時と同じようなやり方で実施をしていくという考え方もあります。その点がどのように整理されているのかが分かりませんでした。式の内容をどのように捉え、残していくのかという学校の意向が分かりませんでした。</p> <p>また、PTAと学校側が十分話し合いができているのかを危惧しています。このような意識1つを考えたとき、このコミュニケーション不足が他の方面に影響していかなければよいと思いました。</p> <p>今後は、この2点を整理し、考えていかなければならない部分だと感じています。</p>
片山教育委員	<p>「宮崎市立ひなた中学校開校式及び第1回入学式」については、小林教育委員の話にもありましたが、新入生代表挨拶の二人の支え合いを目の当たりにしました。様々な背景や思いをもって入学してきた生徒の皆さんがお互いを思い合う学校風景が見えました。良い場面に立ち会えました。合わせて、渡会校長の英語のスピーチも配慮をされていることがよく分か</p>

	<p>り、非常に感動しました。</p> <p>また、小学校と中学校の入学式にも参加しました。各学校の特徴を毎年感じています。私は、大塚中学校と宮崎西小学校に行きました。大塚中学校については、校長の祝辞内の一言でざわつきが収まった場面があり、アドリブ力が素晴らしいと感じました。宮崎西小学校は少人数であり、保護者の方が1年生を囲むようにコの字型になっており、皆で見守るという雰囲気でした。学校ならではの取組や見せ方がありました。上級生の5年生、6年生が前に出て、紙芝居のようなものをしており、非常に感動的でした。良い入学式に参加できたと感じています。</p> <p>入学式とは、話が変わりますが、私の2番目の子どもが小学校を卒業しました。卒業時には、毎年将来の夢を書きます。最近、学校の先生になりたい子ども達が減っているという話を聞きますが、今年は8人の子ども達が学校の先生になりたいという夢を書いていたため、素晴らしいと感じました。私の考えですが、非常に素晴らしい先生達だったからなのではないかと思えます。私の子どもの担任、6年生の担任が子ども達がやりたいことを全部聞きながら、行事を作っていました。最後の参観日も、授業を見せるだけでなく、子ども達が表現したいことを保護者に見せてくれました。そのような先生たちの思いが子ども達に伝わり、学校の先生になりたいという思いをもつ子ども達が増えたのだと思います。このことは、学校がどれだけ楽しいか、ワクワクするか、子ども達が夢をどのようにもっていくかという大事な視点です。授業展開も大事ですが、子ども達の思いを組み、夢に繋がる素晴らしい体験ができ、私も子どもも幸せな1年間を過ごしたと思っています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>4月16日に行われた「令和6年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会」については、後ほど議事の中で事務局より報告をお願いします。</p> <p>以上で行事報告等は終了ですが、これまでの報告に対する質問や、委員の方でお気づきになった点、これからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
教育委員	なし。
黒木教育長	<p>ないようでしたら、「4 議事」に入ります。</p> <p>4ページをご覧ください。本日、議案はありません。報告が4件です。</p> <p>はじめに、報告第12号「臨時代理の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小川学校教育課長	<p>内容としては、「宮崎市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について」です。</p> <p>いじめ防止対策委員会は、いじめ防止対策推進法第14条第3項の規定に基づき、いじめの防止等のための対策及び法第28条第1項に規定する重大事態に関する事項について調査審議することを目的として設置しています。</p>

	<p>本報告は、宮崎市いじめ防止対策委員会の運営に関する要綱第2条に基づき別紙に掲げる5名の委員を委嘱することを報告するものです。</p> <p>いじめ防止対策委員会委員の任期については、令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年です。今回、5名のうち3名が再任、2名が新任です。また、女性委員の割合については、40%となっています。</p> <p>いじめ防止対策委員会委員の委嘱については、3月の定例教育委員会で委嘱の承認を得るべきところですが、委員の調整や内諾が間に合わず、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条、臨時代理の規定により、本定例会で報告するものです。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第12号について、ご質問はございますか。</p>
教育委員	<p>なし。</p>
黒木教育長	<p>ないようでしたら、次に、報告第13号「令和6年度第1回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、報告第14号「教職員の事案の報告について」、報告第15号「事故等の報告について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>それでは、これより非公開とします。</p>
黒木教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>次に、会次第「5 その他」に移ります。</p> <p>資料は、10ページをご覧ください。本日は、事務局からの報告案件はありません。</p> <p>委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。</p>
片山教育委員	<p>「令和6年度宮崎市立小・中学校教職員新任式及び新任者研修会」の話を考えてときに、教育長の話が思い浮かびました。</p> <p>教育長が「子ども達がいるから学校があり、地域があるから学校があるということを忘れずに。」という話をされた際、その通りだと思いました。同時に、「どのくらい多くの先生方がその認識をもっているのか。」と考えました。人は思っている、その場にいたとしても、忘れる生き物であると思います。ですが、子ども達は経験が少ない分、未熟ではあっても私たちより下の存在ではありません。人として、人格や人権をもっています。</p> <p>「人として」という視点に立った時に、「子ども達がいるから」「この子どもたちのために」ということを忘れてはいけません。</p> <p>加えて、学校だけではなく、日常生活の中でも、「お金があるから、物を買うことができる」ではなく、「物を売っていただけるから、その価値としてお金を払う」のだと思います。スーパー等でも、店員が「ありがとうございました」とお礼を言いますが、私たちは「ありがとう」と言っているかという視点に立った時、私たちの日常生活の中で、学校も地域も「当た</p>

	<p>り前にあぐらをかいていないか」を皆が意識することが大事であり、子ども達にもそのような大人達の姿を見てもらう必要があるのではないかと思います。その点を先生方がどのくらい認識しているか、理科や社会を教えるだけではなく、教育者として、人としてという視点を持ち、その背中を見せてほしいと思いました。</p>
黒木教育長	<p>これ以後も繰り返し、宮崎市内の教員に「地域があつて、子どもがいて、初めて学校がある。」という精神を様々な形を通じて広報し、周知に努めます。ありがとうございました。</p> <p>他に、ご意見等ありませんか。</p>
小林教育委員	<p>江平小学校5年生の児童がプログラミングの全国大会で優勝され、そして宮崎市からも特別な賞をいただいたことが報道されました。</p> <p>前回の定例教育委員会でも話をしましたが、私は1次審査に関わりました。「みやざきジュニアプログラミングアワード」第5回目の優勝者で宮崎県の代表として参加しました。</p> <p>自身の病気に加え、声帯を失った方等の声が出せない方のために何かできないかという問題意識から取り組まれていました。今回は、生成AIを使い、「自分の中で出来ないことが出来るようになりたい。」という思いを実現された取組だったのではないかと思います。</p> <p>「人々のウェルビーイングのために何かできないか。」という先端技術を用いた提案が、1つのモデルになり、宮崎市の今後のプログラミング教育を推進する契機になればと思いました。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私と教育情報研修センター所長は、授与式に同席しました。その児童が「自分と同じような悩みを持つ子ども達、人達のために」という思いを持ち、話やすさを支援するプログラムを作り、全国で最優秀賞を取ったことは、非常に素晴らしいことだと感じます。</p> <p>また、同席していた保護者が後の取材の中で、学校に行きづらい思いをされていたことを話していました。また、本市が設置を計画している学びの多様化学校に対する期待感、様々な事情をもった子ども達も友達と学びたいと思っていること、様々な学校の形が子ども達の助けになることを直接口にされていた姿が印象的でした。</p> <p>他に、ご意見等ありませんか。</p>
高峰教育委員	<p>現在台湾で、以前からプロジェクトで関わっている障がいがある方のエキシビジョンが開催中です。前回の定例教育委員会時にシンポジウムがあり、3月の定例教育委員会を欠席しました。障がいのある作家4名と家族の方、約20名を台湾にお連れしました。</p> <p>台湾で「知的障がいの子どもをもつ親の会」という大きな全国組織があります。私は、仕事も兼ねて台湾に約100回行き、様々な縁がある中で、友人がその会のアート部門にいます。台南市にある現代アートの美術館で知的障がいの方の作品を展示を行うにあたり、「ぜひ宮崎県から、作品を出</p>

	<p>して欲しい。」との話をもらいました。私だけでは選ぶことができないため、台湾から専門の学芸員に選考に来て欲しいとお願いしました。夏にいただいた話で、展覧会が始まるのは1月であったため、お越しいただけないかと思いましたが、台湾のお国柄もあり、キュレーターを含め4名の方に宮崎県へお越しいただきました。私が車で宮崎県内のアート活動をされている施設を紹介し、最終的には、10名の作家、51作品が宮崎県から選ばれました。</p> <p>台湾の方は「大都市ではない宮崎県に障がいのある方のアート作品があるのか。」と不安に思われていましたが、実際に作品を見て、「真っ暗い宇宙の中に新しい惑星を見つけたような作品との出会いがあり、素晴らしい。」と話をしてくれました。多くは、大人の作家になりますが、特別支援学校高等部の生徒が1名います。「あーちゃん」という名前で活動されている方で、その家族も一緒に台湾へ行きました。障がいのある方が台湾に行くことは、重度の方であればあるほど大変です。事前に台湾にある領事館に連絡をしました。台湾でパニックになってしまった方もいましたが、3泊4日を過ごし、帰るときには、「台湾の地で作家として頑張っていきたい。」「移住したい。」と話をしている方もいました。ご家族も、障がいの子どもを育てていく中で、光が見えにくい時もあり、大変苦労があったと思います。海外の現代アート美術館で作品が展示され、非常に高い評価を受けられたことに本人やその家族も非常に喜ばれており、人の成長を感じました。</p> <p>障がいのある方の教育は、非常に難しい面もあります。最近、特別支援関係の場所で、障がいのある方のアートのサポート活動の話をします。人は、希望や光のある方に歩いていくと思います。このような取組が光となっていくと良いと考えています。アートは、小さい時からの積み重ねになる部分もあります。私が一緒にできることは、海外と繋ぎ、障がいのある方の光になることであり、今後も活動ができたと思います。</p> <p>詳細は、日曜日の宮崎日日新聞の紙面をご覧ください。</p>
黒木教育長	他に、ご意見等ありませんか。
松尾代表教育委員	<p>全国市町村教育委員会連合会の理事会の中で、教員が不足しているという状況を今年も文部科学省への要望事項に入れてもらうという話が出ました。宮崎市においても、教員が不足しているため、教頭が2人配置されていても、1人が学級担任をしている状況があります。あるいは、本当は学級担任をもたなくてよい主幹教諭が、学級担任をもたなければならない状況もあります。都市部や地方を問わず、全国的な問題になっています。</p> <p>例えば、県や市が事業化して、加配をつけようとしても、人がいない等、非常に厳しい状況です。背景を考えると「ブラックだから教員になりたくない」という人が多いだけでなく、そもそも生産年齢人口が減っており、各職が人を奪い合っている状況です。教職に就くことに魅力を感じる人が増えれば、教員は増えます。あるいは、待遇が良くなれば、教職に就く人</p>

	<p>も出てくると思います。様々な面を含めて、待遇や条件面を整備していかなければならないと思います。また、「教員は、魅力ある仕事である。」ということ発信しなければならないと思います。子ども達に「将来の夢は何ですか。」と尋ねると、「先生」という回答が1番2番に出てくる時代もありました。片山教育委員の話を聞きながら、魅力を発信すること、条件面を改善することを含めて取り組むことが重要です。将来の日本、宮崎県、宮崎市の教育がどのようになっていくのかを懸念しています。量的な部分、質的な部分を含め、十分に組み込んでいかなければならないと思います。量的な部分で問題がある場合は、市だけではなく、国を上げての対策が必要です。今年も、欠員の状況が厳しいと4月の時点で感じたところでした。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございました。 その他、ご意見等ありませんか。</p>
教育委員	なし。
黒木教育長	<p>ないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>次回定例会は、令和6年5月30日(木)、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
河野企画総務課長	<p>明日から6月の定例教育委員会までの主な予定を掲載しています。 5月8日は、「九州都市教育長協議会第1回理事会・総会」が長崎市で開催されます。教育長の出張です。 続いて、5月9日から10日にかけて、「全国都市教育長協議会第2回常任理事会、理事会、総会、研究大会」が同じく長崎市で開催されます。 続いて、5月11日は、「令和6年度宮崎市PTA協議会定期総会」があります。市長も出席予定です。 続いて、5月24日は、「宮崎縣市町村教育委員会連合会第1回理事会」が開催されます。教育長、松尾代表教育委員の出席です。 続いて、5月30日は、5月の定例教育委員会の予定です。 最後に、6月27日は、6月の定例教育委員会の予定です。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。</p>
教育委員	なし。
黒木教育長	<p>以上をもちまして、第4回定例会を終了します。</p>